

「社会資本整備重点計画（仮称）」における重点目標、アウトカム指標、事業の概要のイメージ

[参考1]

	重点目標の例	アウトカム指標の例	事業の概要の例
暮らし	バリアフリー社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・1日あたりの平均の利用者数が5千人以上の鉄道駅等及びその周辺における主な道路のうちバリアフリー化されたものの割合【鉄道駅等旅客施設：H22までに100%、周辺の主な道路：17%（H14） 53%（H19）】 ・バリアフリー住宅比率【住宅：2.7%（H10） 約1割（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関、公共空間や住宅、建築物のバリアフリー化
	水と緑豊かで美しい都市生活空間等の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・親水水辺延長の割合 ・都市における緑地の確保量 ・市街地等の幹線道路の無電柱化率【8%（H14） 13%（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水性のある河川、海岸、港湾等の整備 ・公園・緑地の整備、緑地の保全、公共空間等の緑化 ・電線類の地中化 ・河川、ダム等の水質浄化対策 ・水道水源域等における下水道の整備
安全	都市型災害等の被害の軽減への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の床上浸水被害地域の未解消家屋数【約10万戸（H14） 約6万戸（H19）】 ・土砂災害から保全される人口 ・高潮・津波災害から安全性が確保されていない地域の人口・面積【約390万人（H14） 約290万人（H19）、約15万ha（H14） 約10万ha（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水被害を防ぐための河川やダムの整備 ・河川と下水道の連携による都市雨水対策 ・土砂災害対策 ・海岸保全施設や湾口防波堤の整備 ・ハザードマップの作成支援等
	大規模な地震や火災への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・特に危険な密集市街地の安全性確保度 	<ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地の整備、住宅・建築物の耐震診断・改修の推進 ・堤防、防波堤、岸壁等の耐震強化 ・防災公園や臨海部防災拠点等の避難施設、復旧施設の整備 ・災害時救援ルートの確保
	総合的な交通安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・道路交通死傷事故率【122件/億台キロ・年（H14） 118件/億台キロ・年（H19）】 ・ふくそう海域における航路等の視認性及び識別性の向上率 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備や交差点改良等道路交通環境の整備 ・信号機の高度化、交通管制センター等の整備 ・ふくそう海域等における航路標識の高機能化
環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や海運へのモーダルシフトの推進 ・公共施設、住宅・建築物や機器の省エネルギー・グリーン化の推進
	大気汚染や騒音等の生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因物質であるNO₂・SPMの環境目標達成率【NO₂：51%（現況値） 76%（H19）】【SPM：0%（現況値） 62%（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス、環状道路の整備
	循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・建設廃棄物の再資源化・縮減率【85%（H12） 90%（H19）】 ・循環型資源国内コスト低減【H12年度比約1割削減（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・静脈物流関連港湾施設の整備
	良好な自然環境の保全・再生や水環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道による水質汚濁原因物質削減の達成率 	<ul style="list-style-type: none"> ・藻場、干潟、砂浜等の保全・再生・創造 ・下水道の高度処理施設整備 ・閉鎖性海域における水環境の改善 ・河川流量の確保
活力	国際的な水準の交通サービスの確保や国際競争力と魅力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点空港の空港処理容量（国際旅客/国際貨物）【4,300万人/290万ト（H13） 8,100万人/480万ト（H24）】 ・国際海上コンテナ貨物輸送コスト低減率【H12年比7%減（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点空港の整備 ・国際海上コンテナターミナル等の整備 ・次世代航空保安システムの整備 ・拠点的な空港・港湾へのアクセス道路や空港アクセス鉄道の整備
	広域的なモビリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・航空ネットワーク高度化指数【1,268億座席キロメートル（H13） 1,800億座席キロメートル（H24）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏拠点空港の整備 ・高規格幹線道路の整備 ・幹線鉄道の整備 ・複合一貫輸送等に対応した内貿ターミナルの整備
	観光交流等を通じた地域や経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人旅行者数【800万人台（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流空間づくりモデル事業 ・地域間交流を支える交通基盤の整備
	都市交通の利便性等の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・道路渋滞による損失金額【11.6兆円/年（H14） 10.0兆円/年（H19）】 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策・混雑緩和等の都市交通対策の推進

注）最終的には全てのアウトカム指標に【現況値 目標値】を記載します。
 アウトカム指標及び数値目標をはじめとした記載内容は、今後の作成の過程で変更することがあります。